

平成 27 年第 4 回定例会一般質問

質 問 者	質 問 事 項 及 び 要 旨	質 問 の 相 手
松 屋 治 郎	<p>ジェネリック医薬品の普及について</p> <p>我が国の医療費は、高齢化や医療の高度化により年々増加し平成 25 年度には 40 兆円を突破、その内の 20%、8 兆円が薬剤費となっている。</p> <p>ジェネリック医薬品は、有効性や安全性は先発医薬品と変わらないが価格は 6 割～5 割と安く、ジェネリック医薬品を使うことにより患者の窓口負担や国の歳出削減に繋がることから、国は 2020 年までにジェネリック医薬品の普及率を 80%以上にすることを目指している。現在、国の普及率は 58.4%であるのに対し、本町は 21.8%と普及が進んでいない。</p> <p>次の 3 点について伺う。</p> <p>①ジェネリック医薬品に対する認識について ②普及が進まなかった理由について ③今後の取組について</p>	町 長
土 川 重 佳	<p>まち・ひと・しごと地方創生総合戦略について</p> <p>平成 27 年は地方創生元年となる。小値賀町議会においても地方創生まちづくり特別委員会を設置し、議会の観点からも戦略策定に取り組んでいる。地方創生の中心は人口問題であり、如何に子どもを増やすか、後継者、担い手を残していくかにかかっている。将来にわたり人口減少問題の克服と小値賀の成長力の確保を図るため、町長に次の 2 点について伺う。</p> <p>①歯止めなき人口減少についての町長の考えを伺う。 ②人口増のためには、働く場が必要である。小値賀町の産業の振興について伺う。</p>	町 長

<p>今 田 光 弘</p>	<p>通学路における生徒児童の安全確保について</p> <p>通学路を夜間歩くと、街灯の明かりが届かず、足元が見えないような場所が多々見受けられる。街灯の適正な管理と配置ができないか伺う。</p> <p>倒木や枝の落下による事故のリスクを減らすため、道路に覆いかぶさるような松等の枝切りや、特に笛吹の林田から大浦にかけての県道の法面に生えている松を伐採できないか伺う。</p>	<p>町 長</p>
<p>宮 崎 良 保</p>	<p>小値賀空港の利活用について</p> <p>世界遺産登録が来年にせまっている。その後の状況によっては、存続の問題も出てくる可能性もある。</p> <p>そこで、今後の利活用について町長の考えを伺う。</p> <p>1) 定期便の復活について</p> <p>2) グライダーの練習用に空港を活用することについて</p>	<p>町 長</p>
<p>横 山 弘 蔵</p>	<p>観光産業の振興対策について</p> <p>1. 観光産業の振興策について、小値賀町が取組むべき一番の課題は何か。町長の基本的な考えを伺う。</p> <p>2. 資金不足が問題になっている NPO 法人 IT 協会の現状について、小値賀町はどのように認識しているのか伺う。</p> <p>3. 小値賀町の観光振興に多大な貢献をし、公益性のある活動も行っている NPO 法人 IT 協会の存在・必要性は言うまでもないが、観光事業を進める上で大きな力になっている NPO 法人 IT 協会との関係を今後どのように講じていく考えなのか伺う。</p> <p>4. 世界遺産認定後、さらなる交流人口の増加が見込まれるが、本土との海上交通の改善策をどのように考えているのか、又、これまでの取組みについても伺う。</p>	<p>町 長</p>